

フィルコンブランドを世界へ

— 不織布用ワイヤーの高い国内シェアと技術力を世界に発信 —

日本フィルコン(株)取締役 工業製品事業部長 佐野 庄平



佐野庄平取締役

MADE IN JAPAN を世界へ

当社は、不織布製造用ワイヤーで国内トップシェアを占めるサプライヤーである。

今までは重点的に国内市場のニーズに合う製品開発を行ってきたが、これからはその培った技術を世界に発信するため今回の出展を決めた。

海外企業へ存在をアピール

アジア、欧米諸国の不織布メーカーおよび不織布製造装置メーカーにレベルの高い技術をアピールしたいと考えている。

現在は、海外進出した日本の不織布メーカーへワイヤー供給を行っているが、今後は世界の不織布メーカーの多くに、日本フィルコンのワイヤーをお使いいただき、より高付加価値の不織布を製造していただけるように努力していきたい。

世界で不織布は年間450万t以上生産されており、日本での生産量はその一部にすぎない。

しかし、日本における不織布の品質および付加価値は世界一であると思っている。その日本で不織布製造用ワイヤーを供給し、今日まで培われてきた技術を世界へアピールしたいと思う。

また、日々進化していく不織布の製法に迅速な対応をするためにも、研究開発は海外企業との共同研究も視野に入れて取り組んでいきたい。

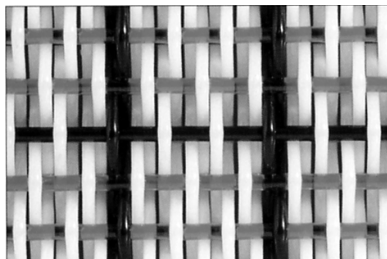
あらゆる製法に対応するワイヤー

当社の製品は、スパンボンド、スパンレース、エアレイド、サーマルボンド、メルトブローン、湿式抄造(一般繊維、硝子マットなど)など、不織布製造のほとんどの製法で使用されており、さまざまな要求に対応できるワイヤーを今日まで納入してきた実績がある。この分野での国内シェアは7～8割と見ている。

当社の強みは、各種プラスチックから各種金属(主にステンレス)などあらゆる素材で多様なメッシュをユーザーの要望・要求に対応できることである。これらは製紙、工業用ワイヤー製造で培われた90年間の技術が活かされている。

スパンレース不織布用ワイヤーで重要なことは、高水圧のウォータージェットに耐えることと、交絡された繊維シートがワイヤーからスムーズに剥がれることである。それにより意匠性を高めたスパンレース製品が製造される。

こうした製品では不織布メーカーと共同開発をするため、機密保持にたいへん気を遣う。このような



静電気対策ワイヤー

日々の積み重ねによって、日本のユーザーから広く信頼されるようになった。

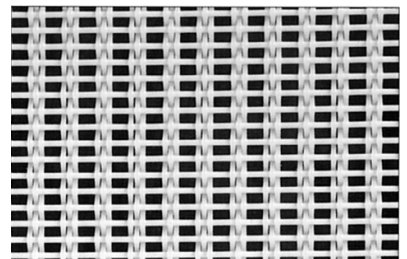
ワイヤー素材では、プラスチックを多く使用し、寸法安定性、走行安定性に適したポリエステルが基本的な素材である。

しかし、先にも述べたように不織布の製法は日々進化しており、ワイヤーには非常に高度な品質が求められている。その要求に応えるためには、素材はもちろんのこと、織り方も重要になってきている。

また乾式不織布では、生産において静電気は厄介者となっている。そこでベルトに求められる条件は、すぐれた除電性を持っていることであるが、ベルトはポリエステルを基本としているため、相反する要求となる。

このように困難な課題に対応し、多くの商品をつくり出してきたが、世界には今後複雑で複合的な製法が開発され、想像もできない要求も出てくるものと思う。

われわれも日々勉強しつつ、開発に重点を置き、不織布メーカーの要望に応えられる製品(一歩先行く物づくり)を世界へ発信していきたい。



スパンレース用ワイヤー(パターン付)